

5-4. 文化・芸術の振興

(1) 現況と課題

本町では、誰もが文化・芸術に親しみ、子どもへと引き継ぐことができる文化・芸術の循環の仕組みづくりを目指して、各種講座や文化祭・地区芸術祭を開催するなど、文化・芸術の振興に努めてきました。特に町民ホールの活用については、公募による自主事業運営委員会を設置して企画運営を行うなど、限られた財源の中で住民ニーズを踏まえた文化・芸術事業を展開してきました。

しかし、今後さらに充実した文化・芸術活動の振興を図るためには、町民自ら行う文化イベントの実施や新たな講座の開設、文化団体の育成と組織の強化を図ることが必要となっています。また、町民ホールの利活用については、参加型、鑑賞型、普及啓発型等さまざまな企画運営を行い、文化・芸術に触れることが課題となっています。

(2) 5年間の政策目標

- ①文化・芸術団体や町民主権による文化イベントの開催、また、新たな教室・講座が開設されるよう支援します。
- ②伝統芸能の継承、発展のために、様々な伝統芸能子ども教室の開催や高齢者と子どもの交流機会が充実するような支援を行います。
- ③歴史民俗資料館を活用したふるさと（歴史）講座、体験型講座を実施します。

(3) 施策

5-4-1. 住民参画による文化イベントの運営

自主的に開催する文化・芸術団体を育成するとともに、住民参画による文化イベントの充実を図ります。

指標	平成 16 年度	平成 22 年度
町民ホール利用率 (単位：%)	52%	60%

【事業】

○住民参画による文化イベントの運営

- ┆ 住民参画による文化イベント事業費
- ┆ 町民ホール自主事業運営委員会による文化イベント事業費
- ┆ 文化祭開催事業交付金

【関連施策】

- 1-1-3 宝積寺駅及び駅周辺整備事業
- 5-3-1 地域協働団体等の育成と支援
- 6-1-2 住民協働推進計画の策定と運用

5-4-2. 体験型・伝統芸能子ども教室の開催

体験型教室、伝統芸能教室、高齢者と児童とが交流する機会（むかしあそび）を積極的に提供し、郷土の歴史に関する理解を促し、ふるさと高根沢への意識高揚を図ります。

5-4-3. 文化振興計画の策定と運用

文化芸術の振興を計画的に推進するため、住民参加による文化振興計画を策定し、計画に盛り込まれた事業の運用を行います。

(4) 効率化目標

- ①ホール事業等の企画、運営を行うことができる人材を育成するとともに、音響・照明等の補助ボランティアを養成します。
- ②町民ホールや歴史民俗資料館の運営については、指定管理者制度の導入など、より効率的な管理運営のあり方を検討します。

(5) サービス向上目標

- ・ 専門家による歴史民俗資料館解説員を配置します。
- ・ 指定文化財の情報やイベント情報をホームページや広報紙等を利用して、随時提供します。
- ・ 民間主催の文化関係教室（ピアノ教室、書道教室等）を把握し、住民への情報提供を行います。